





月一日ヨリ  
二十一日マデ  
歳暮大賣出  
浮圓每百玉  
品即時引換  
紙一本五十  
城本町  
ます屋  
呉服店  
電四八三番







第五十七席

月やく  
 身體に害なく通經する良法。速に御和ら  
 車神 錦和三ノ一九 塚田 け  
 ゆうれうせつけん  
 優良石鹼

東京 野村外吉商店  
大阪

金館  
黃龍  
金館  
光館

電話 二九一〇  
 御成座  
 大正館  
 目次  
 一、三月月満船 九幕  
 二、井町川 三幕 大正館  
 三、電燈 三幕 大正館  
 四、井町川 三幕 大正館  
 五、電燈 三幕 大正館  
 六、目録  
 七、目録  
 八、目録  
 九、目録  
 十、目録  
 十一、目録  
 十二、目録  
 十三、目録  
 十四、目録  
 十五、目録  
 十六、目録  
 十七、目録  
 十八、目録  
 十九、目録  
 二十、目録  
 二十一、目録  
 二十二、目録  
 二十三、目録  
 二十四、目録  
 二十五、目録  
 二十六、目録  
 二十七、目録  
 二十八、目録  
 二十九、目録  
 三十、目録  
 三十一、目録  
 三十二、目録  
 三十三、目録  
 三十四、目録  
 三十五、目録  
 三十六、目録  
 三十七、目録  
 三十八、目録  
 三十九、目録  
 四十、目録  
 四十一、目録  
 四十二、目録  
 四十三、目録  
 四十四、目録  
 四十五、目録  
 四十六、目録  
 四十七、目録  
 四十八、目録  
 四十九、目録  
 五十、目録  
 五十一、目録  
 五十二、目録  
 五十三、目録  
 五十四、目録  
 五十五、目録  
 五十六、目録  
 五十七、目録  
 五十八、目録  
 五十九、目録  
 六十、目録  
 六十一、目録  
 六十二、目録  
 六十三、目録  
 六十四、目録  
 六十五、目録  
 六十六、目録  
 六十七、目録  
 六十八、目録  
 六十九、目録  
 七十、目録  
 七十一、目録  
 七十二、目録  
 七十三、目録  
 七十四、目録  
 七十五、目録  
 七十六、目録  
 七十七、目録  
 七十八、目録  
 七十九、目録  
 八十、目録  
 八十一、目録  
 八十二、目録  
 八十三、目録  
 八十四、目録  
 八十五、目録  
 八十六、目録  
 八十七、目録  
 八十八、目録  
 八十九、目録  
 九十、目録  
 九十一、目録  
 九十二、目録  
 九十三、目録  
 九十四、目録  
 九十五、目録  
 九十六、目録  
 九十七、目録  
 九十八、目録  
 九十九、目録  
 一百、目録

本書は近世講談社會の泰斗たる故の松林伯園、桃川如燕の二人が、曾て辱くも、先帝陛下の御前に於て口演し、御嘉賞を蒙りたる講談楠正、成、楠泣男、長篠籠城烏居強右衛門、山内一豊の内室、大関中國引返、伏見地震加藤清正、木村長門守、中山大納言の八種を、その高弟たる松林伯知、二代目如燕が更に講演したるものなり。悉く是れ忠烈の美談にして、此を讀みて感動せざる者なかるべく、通俗教育の資料として、家庭の讀物として當時此書に勝れる講談なかるべし。

日本赤穂義士

第一編 埴部安兵衛、大石湖左衛門。  
第二編 藤田重左衛門、三村治郎右衛門、岡島入右衛門、岡重次郎、千鳥三郎兵衛、赤垣源藏、杉野新太次。  
第三編 平原伊助、横川勘平、神崎菊五郎、矢頭右衛門七、倉橋、草水藤左衛門、茅野三平、武林輔。  
第四編 大高源吾、原聖右衛門、鹽見十郎左衛門、吉田忠左衛門、中村勘助、松村父子、片岡酒酒左衛門、五右衛門、大石内膳之助、近松勘六郎、岡聖兵衛父子、菅谷平之丞、小野寺幸右衛門、貝賀彌左衛門、與田父子、小野寺重内、密藏助右衛門。  
第六編 義士誠忠翁、赤垣城渡、南部保雄の別れ、景岳寺評定、討入。

本書は最も信憑すべき資料を基とし、之に貞水獨得の輕妙洒脫の快筆を以て、月雪の中に命を捨て、死處を得たる四十七士の面目を、面白く可笑しく説きたるもの、平易通俗にして分り易ければ、婦人老幼の讀物として上乗無二なるのみならず、芳烈悲壯なる言句人を魅して感慨胸に迫り九陽寸斷の思ひあらむ。本社は通俗教育の好資料として、之を各階級の家庭に推薦す。希はくは一本を藏せられよと云爾。

女義士傳

天下泰平の元祿時代に、我兄を勵まし夫を勵まし、亡君の爲に家來る道を盡さしめたる赤穂浪士の母や妻女は、其時代には新らしい女あつたに相違御座いませんこは、講演者の言ふ所なり、堀部彌兵衛妻、堀部妙海尼、越平の姉菊江、瑤泉院、武林唯七の母、赤埴源藏の妹、茅野和助の妻、原惣右衛門の母、間新六の伯母、山岡覺兵衛の妻、良妻かる、以上十一人の賢母節婦が花も實もある、勇ましく面白き物りにして、女子の鑑として千載に傳ふべき好書なり。

取次所  
京城太平通一丁目  
振替京城三〇番  
京城日報社代理部

純粋  
培養  
牛乳  
模範  
乳  
場  
東亞  
牧場  
東京  
芝罘  
正太  
代理  
京日  
行濱町

酒清等優

京設本町参丁目電話六五四

本庄酒庄

[illegible][illegible][illegible][illegible]

正午  
 朝鮮郵船  
 代理店 松原源次郎  
 支店 東京 丸の内  
 支店 大阪 丸の内  
 支店 神戶 丸の内  
 支店 横濱 丸の内  
 支店 名古屋 丸の内  
 支店 京都 丸の内  
 支店 神戸 丸の内  
 支店 福岡 丸の内  
 支店 仙台 丸の内  
 支店 札幌 丸の内  
 支店 旭川 丸の内  
 支店 釧路 丸の内  
 支店 網走 丸の内  
 支店 小樽 丸の内  
 支店 青森 丸の内  
 支店 岩手 丸の内  
 支店 秋田 丸の内  
 支店 山形 丸の内  
 支店 宮城 丸の内  
 支店 福島 丸の内  
 支店 茨城 丸の内  
 支店 栃木 丸の内  
 支店 群馬 丸の内  
 支店 埼玉 丸の内  
 支店 千葉 丸の内  
 支店 東京 丸の内  
 支店 大阪 丸の内  
 支店 神戶 丸の内  
 支店 横濱 丸の内  
 支店 名古屋 丸の内  
 支店 京都 丸の内  
 支店 神戸 丸の内  
 支店 福岡 丸の内  
 支店 仙台 丸の内  
 支店 札幌 丸の内  
 支店 旭川 丸の内  
 支店 釧路 丸の内  
 支店 網走 丸の内  
 支店 小樽 丸の内  
 支店 青森 丸の内  
 支店 岩手 丸の内  
 支店 秋田 丸の内  
 支店 山形 丸の内  
 支店 宮城 丸の内  
 支店 福島 丸の内  
 支店 茨城 丸の内  
 支店 栃木 丸の内  
 支店 群馬 丸の内  
 支店 埼玉 丸の内  
 支店 千葉 丸の内  
 支店 東京 丸の内

[illegible]

|     |           |        |        |            |         |           |           |      |
|-----|-----------|--------|--------|------------|---------|-----------|-----------|------|
| 義陽丸 | 三浦丸       | 海州丸    | 統宮丸    | 各港出船水行     | 順天丸     | 慶典丸       | 公州丸       | 公州丸  |
| 每旬  | 十一月廿九日釜山發 | 巨港發 每旬 | 巨港發 每旬 | 寶日丸 (即木浦行) | 三日每 木浦發 | 十一月廿八日木浦發 | 十月四日 日本浦發 | 日本浦發 |
| 日   | 浦項        | 日      | 日      | 日          | 日       | 日         | 日         | 日    |

|        |       |       |       |       |
|--------|-------|-------|-------|-------|
| 平安丸    | 全州丸   | 麗水丸   | 江原丸   | 宗信丸   |
| 十二月十九日 | 十二月一日 | 十一月一日 | 十一月一日 | 十一月一日 |
| 每日午前   | 每日午前  | 每日午前  | 每日午前  | 每日午前  |
| 仁川發    | 仁川發   | 仁川發   | 仁川發   | 仁川發   |

[illegible]

|                            |       |    |
|----------------------------|-------|----|
| 汽船釜山出帆廣生                   | 同月一日  | 出帆 |
| 阿波國共同汽船株式會社<br>本則一丁里電話二八五〇 | 十二月一日 | 出帆 |
| 三井物產<br>川代坪坂山下             | 回漕    |    |
| 元山代客運                      | 田口回漕  |    |
| 南大府販賣店                     | 六人付運送 |    |
| 京都販賣店                      | 河村運送  |    |

|  |                                |                               |                                    |                                 |
|--|--------------------------------|-------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|
| 晚時   | 迎神                             | 遼                             | 店                                  | 估                               |
| ○元山廣津浦鹽行<br>小倉丸<br>廿二月二日午後十時出  | ○元山神戶、大要行<br>五神丸<br>十一月卅日午後五時出 | ○元山清津浦鹽行<br>三神丸<br>十二月九日午後十時出 | ○元山萬濟津新造城津兩洋行<br>三黎平丸<br>十二月一日後九時出 | ○門司宇留神戶、大阪行<br>三黎平丸<br>十一月一日後六時 |
| ○佐須奈、嚴原、壹岐歸多行<br>大興丸<br>每月三日五日七日十一日廿六日<br>廿一日廿六日<br>午發<br>不船頭換底店<br>大油漕圓 |                                |                               |                                    |                                 |















